



**国民主権
議会議院の
確立を！**
私たちには、
あなたの力が
必要です。

RIKKEN MINSHU
2019.3.11
号外
立憲民主
The Constitutional Democratic Press

さいたま市の公共交通の充実等 埼玉県第1区総支部長(前衆議院議員)たけまさ公一

「安全に通れる道路が多い」が10区中8区で1位 平成30年さいたま市民意識調査 (地域の今後の要望)

さいたま市は三市合併し政令指定都市を目指す時点から片側2車線道路など交通インフラの整備の必要性が指摘されてきました。政令指定都市になり、旧岩槻市を合併してこの間も、見出しの様に市民要望の1位です。埼玉県は「自転車事故死者数」全国一位(平成30年自転車乗車中の交通死亡事故者数50人。うち半数が高齢者)です。その背景として、昭和40年代の人口急増で郊外の宅地が開発され公共交通の未整備のため自転車の利用が多いこと、幹線道路の整備が進まないため生活道路に車が侵入してくること等が考えられます。

また、高齢者の免許返上を促す一方、バス、コミュニティバス路線の拡充充実を求める声はより強くなっています。

以下、具体的に六項目を挙げたいと思います。

- 1、首都高埼玉新都心線の延伸(第2産業道路から東北自動車道路122号線まで)
- 2、都市型路面電車LRTの敷設(大宮駅—さいたま新都心—浦和美園駅)
- 3、地下鉄埼玉高速鉄道の岩槻駅までの延伸
- 4、バス路線(コミュニティバス含む)の充実
- 5、歩道(通学路安全対策)、自転車道路(レーン)整備と交通安全教育(バイク含む)
- 6、道路整備(緊急車両対応含む)

2、3は国土交通省交通政策審議会(平成28年4月、地域の成長に応じた鉄道のネットワークの充実に関するプロジェクト)で延伸の答申が出されています。ただし、2(東西交通LRT大宮ルートの新設)3(埼玉高速鉄道の延伸)のいずれもB/C(利益を費用で割った値・採算性)が問われ、「沿線開発」や「交流人口の増加」が指摘されています。見沼田んぼの保全活用創造のビジョンと具体的な計画が求められます。たけまさ公一は、2009年春に11名の有識者(地権者を含む)と「見沼100年ビジョン」を発表しました。大規模直売所(田んぼの駅)などの提言を含んだこのビジョンのバージョンアップ(見直し)を進めます。

また、平成30年3月、さいたま市の地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会は5つの条件のもと2つが国の補助条件(利便増進法(速達性)の適用が必要)をクリアしたことを公表しました。

これらの条件をクリアするためにも、1(首都高埼玉新都心線の延伸)が欠かせません。

もともとは、「核都市広域幹線道路(横浜—立川—所沢—さいたま—柏—成田)に位置し、首都圏外郭環状道路(外環)と首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の中間に位置するため、「2.5環状道路」と呼ばれています。首都高埼玉新都心線の北伸(圏央道まで)は、さいたま市が平成29年3月31日与野—上尾南(約8キロ)間の事業着手を発表しました。次は、東へ伸ばす順番になります。首都高が第2産業道路から東北道まで延びれば、側道利用などLRTの敷設に弾みがつき、LRTが地下鉄埼玉高速鉄道の岩槻延伸に伴う中間駅と結ばれることで、双方の利用者増につながります。

4(バス路線の充実)については、既存バスの乗り継ぎ(トランジット)にあたり初乗り運賃を取らない仕組み作りが欧米では主流です。また、区役所への足の便の悪さの解消のため、コミュニティバス路線の充実を望む声も聞きます。自動運転バスの推進、バスの位置情報の確認ができる仕組みなどを進めます。

5(歩道整備)は、特にさいたま市では課題です。歩行者が安心して歩行できる環境はまだ不十分です。(通学路安全対策)は平成24年政府の緊急点検が行われましたが、昨年の大阪でのブロック塀倒壊事故を受けて、まだまだ急務の課題です。自転車専用道路(レーン)200キロの整備(さいたま市)を進めるとともに、埼玉県がバイクの「3ない運動」見直しを行うので、歩行者自転車バイクなどの子ども、大人、さらに社会人への安全教育を徹底します。

6(道路整備)は、緊急車両が入れない道路などの見直しはもとより、今後の自動運転の普及を見据えても道路は基本的なインフラとして整備が欠かせません。



無償化の提言

10月の消費増税と同時に行われる就学前の無償化法案が国会に提出されました。これは、前回衆議院議員選挙で、7年前の社会保障税一体改革法案の中身を政府与党が変更したことによるものです。具体的には、社会保障の財源を子供たちが将来払うであろう税金を先食いしている状況を改めるといふ当初の内容（財政再建）を、今度は無償化の財源に使うという変更です。本来は、別の財源を見出し、財政再建を後退させてはなりません。この7年間に、このように若い世代次世代のつけや借金は雪だるま式に増えています。

財政再建、地方分権

働き方改革が叫ばれていますが、若い皆さんのスキルアップ（能力や技術の向上）を評価し、それに報いる制度でなければなりません。それがなければ、日本の活力は生まれません。また、その活力は中央主導ではなく、地方から湧き上がるものでなくてはなりません。そのための、税源財源の思い切った地方への権限移譲「分権」は必須です。

また、外国人材の受け入れが拙速で縦割り行政の弊害が是正できずに見切り発車する懸念があります。外国人の人権を尊重し、日本語教育の充実など、立憲民主党としての考え方をまとめました。政府自治体にその実行を求めてゆきます。

災害対応

昨年の西日本豪雨災害は災害（地震による建物倒壊、浸水、液状化、がけ崩れなど）の危険度を地図にする「ハザードマップ」を広報周知する必要性が指摘されました。その徹底を図ります。たけまさ公一が昨年地域懇談会でアンケートを行ったところ、「各区分ハザードマップ」を見たことがある方の割合は10人中3人でした。昨年は、超暴風台風による倒木や塩害などの被害が観測されました。「災害の少ないさいたま市」と言っても災害対策の見直しが避けられません。

特に、避難所別の想定人数の偏在化が指摘されます。見直しが急務の課題です。

ラグビー、五輪キャンプ地

今年の9月に開幕するラグビーW杯は全国12会場で試合が行われます。埼玉県熊谷市もその一つです。熊谷ラグビー場は、25000人収容に改築され、今年、9月には日本代表壮行試合が強豪南アフリカを相手に行われます。

日本のW杯初戦相手はロシアです。そのロシアが、さいたま市でキャンプを張ります。来年は東京オリンピック、パラリンピックです。その出場国のさいたま市でのキャンプ開催にもつながります。スポーツを通じた国際交流を進めます。



浦和区県議
浅野 義英



見沼区県議
井上 将勝



浦和区市議
添野 ふみ子



見沼区市議
武田 和浩

立憲民主 埼玉県第1区



見沼区市議
三神 尊志



岩槻区市議
高野 秀樹

参議院埼玉県選挙区 公認決定



熊谷 裕人さん
現さいたま市議
大宮区選出

たけまさ公一地域懇談会

3月9日[土]
14:00~15:30
岩槻駅東口ワッツ

3月16日[土]
10:00~11:30
七里コミセン

3月23日[土]
15:00~16:30
元町3丁目自治会館

参加費 無料
どなたでもご参加いただけます。



今回のテーマ
災害対策・食の安全・水道
憲法・外国人・年金・教育
農業・道路・地下鉄 他

たけまさ公一のプロフィール

- 昭和36年（1961年）生まれ
- 木崎小・中学校／県立浦和高校
慶應義塾大学法学部政治学科卒
- （財）松下政経塾 前衆議院議員
- 元外務・財務副大臣
- 元衆議院憲法審査会会長代理
- 埼玉県合気道連盟会長
- 埼玉県ボウラズ連盟会長
- さいたま市ラグビーフットボール協会会長
- 浦和レッズ後援会理事

たけまさ公一事務所

さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F

電話 048-832-3810 FAX 048-832-3846

メール voice@takemasa-k.jp

たけまさ公一の 主な活動地域 埼玉県第1区



公式サイト
takemasa-k.jp



ツイッター
@takemasaicoichi



facebookページ
takemasa.today



公式LINE@
たけまさ公一

第188回

たけまさ公一と語る会 ～地方選挙直前～

2019年3月17日[日]
14:00~16:00

浦和コミュニティセンター
(浦和パルコ10階)第14集会室

参加費 無料 どなたでもご参加いただけます
イベントに関するお問い合わせ先
たけまさ公一事務所 048-832-3810